

評価項目	評価内容	1学期自己評価	評価	評価	成果(○)と課題(●)C	改善方策(※)A	
信頼される開かれた学校教育の推進	【計画的な任務の推進】 学校経営方針や課題に対してチーム瀬々串として連携・協力し、計画的に任務が進められている。	↑	3.3	3.1	○常に連携や協力する環境ができていて、お互い高め合っている。 ○一人で悩まず、様々な先生方に相談できた。 ○生徒指導の共通理解の連絡会で児童理解を深めることができた。 ●年間・学期ごとの見通しが立てられなかった。		
	【業務改善】 業務改善に向け、教職員一人一人の意識の向上が図られている。	↑	3.2	3.0	●残業時間が多かった。 ○衛生推進委員会での共通理解や退校時刻の提示で、勤務時間への意識は高められている。 ○アンケート等、タブレットで行えるものが多く時間短縮になった。	※退校時刻を意識する。 ・見通しを立てつつ、仕事に軽重をつけ、仕事を進める。	
	【保護者との協力・連携】 PTA活動等、保護者との協力・連携がなされている。			3.1	3.2	○PTA等保護者との意見交流できた。 ●コロナ禍が5類へ移行した後の、地域の伝統について残していくもの、教育活動との関連などを議論する場が必要なかなと思う。(次年度の教育課程を編成する過程において)	※学級PTAの充実 ・テーマに合わせた話し合い ・教師からのお願いに偏らない
	【伝統や特色を生かした教育活動の推進】 地域の伝統や特色を生かした教育活動を進めている。			3.1	3.0	○主に総合的な学習の時間を活用して、子どもたちが地域の良さに触れられるようにした。 ○感染症対策を行いながらできる範囲での交流が図れている。	・昨年度の取組みの把握。総合的な学習や社会科の学習などで取り入れた。 ※教育課程の見直し
	【積極的な情報発信】 学校便りや学級便り、ブログ等を活用して、積極的な情報発信を行っている。	↑	3.6	3.2	○学級通信で子どもの具体的な姿や家庭と連携して取り組んでいきたいことを発信できた。 ○児童の評価もかねて、発表や練習で録画した動画を、内容を確認したうえで、タブレットを持ち帰った時に保護者にも見ってもらった。今後も行っていく。		
教職員の資質向上	【研修の充実】 校内研修や個人研修、研修会参加等の充実を図っている。	↑	3.4	3.2	○主に校内・拠点校研修を通して、これまで学んできたことと教師の仕事をつなぐことができるよう研修を充実させたい。 ○授業の参観、授業研究を通してたくさんの学びがあった。 ○ICTの研修やAED講習などを校内研修で行うことができた。	※ICT活用実践発表の充実	
	【信頼される教職員】 常に教育公務員であることを自覚して信頼される言動を心がけるとともに、人権意識の高揚に努めている。	↑	3.1	3.4	○服務指導により意識を高めることができた。 ●子どもや保護者の人権を侵害しないよう心がけている。 ●つい余計なことを言うてしまうことがあるので意識していく。	・修養を積み重ねたり、様々な情報にアンテナを張ったりして、人権意識を高める習慣を身に付ける。 ・日々意識するようにしたい	
	【健康管理】 適正な勤務時間、健康相談の受診等、心身の健康を意識し、自己の健康管理がなされている。		3.0	3.0	○適切な食事・睡眠・運動を心掛け、体調を崩さず勤務できた。 ○衛生推進委員会などで毎回確認することにより、意識して取り組んでいる。 ○月初めの前月の勤務時間の振り返りをする事で、意識が高まった。 ●残業時間が多かった。	※風通しの良い職場環境 ・あいさつ ※定期検査受診	
学力の向上	【基礎基本の確実な定着】 基礎的・基本的事項の確実な定着が図られている。 (一学校一改革「一人1問・1ポイントアップ」単元テスト低90中85高80)	↑	2.6	3.1	●もっと点数を上げる手立てがあったと思う ●単元テストの平均が85点を越えさせる授業ができなかった。 ●単元によっては、目標を達成できていないテストもあった。また、文意を読み解く力が不十分。	※読み書き算の徹底 ・基礎基本に立ち返り、計算・漢字の定着 ・音読の充実	
	【思考・判断・表現力の育成】 書く活動や対話的活動が充実し、思考・判断・表現力の育成が図られている。	↑	2.9	3.1	○グループ学習を効果的に行なった。 ●書く活動を取り入れることができたが、力には差がある。 ●話し合いの力を向上させる必要がある。	・書き方を具体的に示す。 ・話し合いの場を多く設ける。型を示して慣れさせる。	
	【家庭学習の定着】 家庭学習の方法について指導し、継続して取り組ませている。(1～4年(40分)5～6年(60分))	↑	2.7	3.3	○家庭学習の習慣をつけることができた。 ●日によって宿題の軽重があることを保護者から指摘された。 ●なかなか家庭での声掛け・見届けが定着しない。	※保護者へのアプローチ ・一週間の宿題の見通しが持てるよう形式化する。	
学習指導	【学業指導】 学年の発達段階に応じた学業指導(しつけ)がなされている。	↑	3.4	3.2	○「チャイム→黙想」が定着しており、意識させることができています。 ○始業前にノートの準備までできる児童が多くなった。振り返りも習慣化され、宅習に生かせる児童も増えてきた。 ○学習用具の使い方や発表の仕方・聞き方など習慣がついてきている。	※机上の学習用具と置き場所 ※教室前面の掲示物 ・黒板には授業に関係ないものは掲示しない ・黒板上部は最低限の掲示	
	【授業改善】 めあてとまとめを必ず板書し、一単位時間で完結する授業を実践している。		3.0	3.0	●一単位時間で完結できないことがあった。 ●特に国語で完結できない授業があった。	※相手意識・目的意識を明確にした書く指導 ※グループ活動の目的の明確化	
心の教育	【道徳教育の充実】 「考え議論する」道徳の授業や評価の工夫がなされ、全教育活動を通して、道徳性の育成を図っている。		3.0	3.0	○毎時間のふり返りを評価にいかすことができた。 ●特に他者を思いやる態度を養っていくことに難しさを感じている。 ●議論するまでなかなか深めることが難しいと感じる。	※自分との関わりで価値を考えさせる ※多様な考え方・感じ方と出会い、交流させる	
	【校内環境の整備】 校内環境は整備され、教室や廊下等の整理整頓は行き届いている。	↑	3.3	3.5	○校庭内がとても整備されており、子どもたちが安全にのびのびと過ごすことができています。また、各教室や廊下もとても整えられている ○学級全体に整理整頓の意識が広がっている。 ○掃除時間を中心に整理整頓に取り組んだ。	※見届けの徹底 ・靴箱・靴棚・ぞうきん・布巾 ・移動教室の際の残姿 ※掲示物の精選	
	【基本的生活習慣の確立】 四つのあ「あいさつ」「歩き方」「集まり」「あとしまつ」が身に付いている。		2.8	2.7	○「歩き方」「集まり」は意識が高まっている。 ●「右側通行」「廊下を歩く」。 ●「あいさつ」の意識が低い。 ●自分から進んでの「あとしまつ」がもう少し。	※率先垂範	
	【人権教育の推進】 よりよい人間関係作りのために、手立てを講じている。	↑	3.4	3.0	○一人一人の思いに寄り添おうと丁寧に指導をした ●効果的な指導ができなかった。 ●友達に対して強い言い方をしてしまうことがある。	・修養を重ね、効果的な指導ができるように長期休みを活用したい。 ・相手の気持ちを考えた言葉の使い方について指導を続ける。	
がんばる子(体)	【学校体育の充実】 仲良し体育・教科体育等を通して、体力・運動能力の向上が図られている。		3.4	3.4	○授業の開始時に、校庭3周、腹筋・柔軟性の補強運動を取り入れたことで、体力がついたと実感している児童が多い。 ○体力づくりを積極的に行う雰囲気作りができています。雨の日のストレッチも定着してきている印象。	・個人的な声かけを含め、学級全体が前向きに取り組めるようにする。 ・定期的なカードチェックなど、意識を高める	
	【健康教育の推進】 月目標(給食・保健)や健康診断結果をもとに健康習慣の定着がなされている。	↑	3.0	2.8	○月末に振り返ることができた。日々の意識づけはもう少し。 ●健康への意識が低い。	・手洗いうがい、はちつぼねの意識を高めるようその目的を意識させたり、根拠を示しながら説明したりする。 ・朝の会や帰りの会で日々振り返り	
	【学校安全の充実】 「自分の命は自分で守る」ことができるよう、安全指導・安全教育が進められている。	↑	3.2	3.4	○訓練や交通安全教室などの行事を通して、計画的に安全指導が進められている。 ○大きな事故やけがなく、安全に過ごすことができた。 ●危険予知能力、特に校内での安全への意識が低い。	・道徳教育と関連させ、子どもの意識が高まるような指導を粘り強く進める。	

創造性に富み 心豊かで たくましく生き生きと 瀬々串っ子の育成